

## 松山支部

松山市では、松山市教育委員会から委託を受け、「小学校情報教育研究委員会」及び「中学校情報教育研究委員会」を組織して、情報教育の研究を推進してきた。研究委員会は、市内各小・中学校情報教育担当教員及び研究員と松山市教育委員会担当で組織している。

また、小・中学校合同での情報教育研究委員会の開催や、グループウェア開発（ミライム）のための話し合いなどの機会を設けることで、小・中学校間の連携を図る取組も行っている。

### 1 教員研修について

小学校情報教育研究委員会が中心となり、平成17年度から、「情報教育研修会」を8月上旬に開催している。毎年、約100名以上が参加する大規模な研修会となっており、研究委員会の中心的な活動に位置づけられている。また、この研修会は、放送大学教授中川一史氏を講師として毎年招き、最新の情報教育に関する情報や理論を教授していただいている。また、中川氏が主催するメディア表現研究会（D-Project）からの協力を得て、ワークショップを開催するなど、充実した研修プログラムを組むことができ、毎年好評価を得ている。

今年度の情報教育研修会は以下のとおりである。

- (1) 日 時 平成23年8月3日(水) 9:30~16:00
- (2) 場 所 愛媛大学
- (3) 内 容

#### ア 実践事例発表

- |               |                 |           |
|---------------|-----------------|-----------|
| (ア) 「体育館のICT」 | 椿小学校            | 中野 圭一郎    |
|               | コメンテーター：愛媛大学准教授 | 都築 伸二先生   |
| (イ) 「コラボノート」  | 宮前小学校           | 岡田哲明 大原佳彦 |
| (ウ) 「フォトポエム」  | 興居島小学校          | 美藤 貴      |
|               | コメンテーター：放送大学教授  | 中川 一史先生   |

#### イ 分科会

- A：コラボノートを使ったワークショップ
- B：フォトポエムを作ってみよう D-project 2 ワークショップ
- C：今の教室環境を生かして、授業の腕を上げよう

中学校では、今年度も夏休み中に指導者研修を行った。ライズ（株）の学習支援ソフトである「ライズeライブラリアドバンス」を有効活用するための方法や、新しく追加された機能の紹介を行った。また、情報リーダーの南第二中学校、仙波正彦教諭による、校務の情報化推進のための方策や、ソフトウェアの活用方法など、今教員に必要な最新知識に関する講話が行われた。

- (1) 日 時 平成23年8月25日(水) 9:00~12:00
- (2) 場 所 松山市立余土中学校 コンピュータ室
- (3) 内 容

ア ライズeライブラリアドバンス ステープラーを使っの教材作成について

イ 情報リーダーによる講話

ウ 2学期校内研修の計画・立案・情報交換

また、中学校では情報教育研究委員会の先生を各学校に派遣し、校内研修の手伝いをするという取組も夏休み中に行った。市内の数校から申し込みがあり派遣された。

この他、松山市内の中学校の全教職員の中から希望者を募り、「ICT活用基礎講座」を開設した。開設された講座は以下のようなものであり、コンピュータを苦手とする教員のサポートができる貴重な研修となった。

- ア 一太郎の基礎
- イ Wordの基礎
- ウ Excelの基礎
- エ パソコン教室・周辺機器の使い方
- オ 校内LANや学校グループウェア（ミライム）について
- カ Excelの活用と応用

## 2 授業研究会について

小・中学校の情報教育研究委員が参加し、小・中学校別に授業研究会を実施した。今年度は、石井小学校・余土中学校で以下のように授業研究会を行い、研究協議・意見交換等を行った。小学校の教員が中学校に、中学校の教員が小学校に参加する姿も見られ、小中の連携について考えることのできる貴重な機会にもなった。

### (1) 小学校授業研究会

- ① 日 時 平成23年11月21日（月） 13：30～16：35
- ② 場 所 石井小学校
- ③ 内 容

学年・組	教科等	単元（題材）名
1年3組	算 数	「かたちづくり」
4年5組	理 科	「ものの体積と温度」
5年4組	学級活動	「無料につられたら」

### (2) 中学校授業研究会

- ① 日 時 平成23年11月22日（火） 13：20～15：50
- ② 場 所 余土中学校
- ③ 内 容

学年・組	教科等	単元（題材）名
2年1組	学級活動	「自立について考えよう」

## 3 今後の課題

- ICTの更なる有効活用と指導技術の向上
- 児童生徒の発達段階や、一人一人の実態に即した支援の在り方
- 情報モラル及び情報安全教育の教科等のカリキュラムへの位置づけ
- 児童生徒自身が情報社会に主体的に参画する態度の育成
- 各校におけるグループウェアの運用とルールの確立
- 教職員研修の更なる充実
- 小中連携への取組